

続・ふるさと

こぼれ話

第76回

青木の観腸先生⑧

―酒井良清物語 移動公民館⑥―

八ツ木宿の大林誠一さんは「わたしの集落では、移動公民館が本を運んで来るようになって以前と大きく変わったのは、婦人の読書熱が上がってきたことです。自宅近くで簡単に本が借りられるからでしょう」と述べた。

下高根沢山根の人見信一郎さんは「移動公民館の日に巡回する集落で、順番を決めて夜に座談会をしているが、日を定めて年に何回も座談会をやってほしい。公民館の方で計画を作るのではなく、集落から希望して座談会を開いていくようでないといけない」と熱心に話した。

業指導や広報をやっているところもあるが、やはり単独では効果が薄い。役場・農協・普及所・公民館が一緒になり、広報や相談会を一体でやらないといけませんね」と、今でいう「ワンストップ・サービス」の効果と重要性について強調した。座談会の終わりには、酒井良清南高根沢公民館長が「1年間の実績や反省をもとに、これから研究を進め、移動公民館の効果をさらに上げるように努力したい。移動公民館も2年目は一層、馬力をかけていきたい」と締めくくった。



▲給部公民館前での移動公民館

(つづく)

性に気付いた。次々と集落公民館の建設が始まり、お金を出し合って集落の集まりごとに使う茶碗や皿などをそろえて行つた。時が経ち、ガタガタ道をオート三輪車で巡回する移動公民館が始まってから12年が過ぎた昭和43年になって、ようやく芳賀町公民館に広報車が配置された。



しまたがしの

芳賀の自然

28

編集後記

□今月号から紙面の一部をリニューアルしました。

□町長室から・知恵の環館だより・インフォメーションの一部が少し変わっています。見やすくなっているといいますが、(タウンレポートとインフォメーションのページが増えたのは今月だけの予定です)

□これからも皆さんに親しまれる広報紙を目指していきます。

(K)



▲ポピー(下高根沢)



ベニシジミ

チョウ目シジミチョウ科

写真提供=芳賀町自然に親しむ会 撮影場所:町内

分布=北海道~九州

生息地=日当たりの良い草原、田畑周辺、堤防や都市部の植栽された樹木の隙間に敏感に飛び回る。

時期=3~11月(発生:5~6回/年)

食性=スイバ・ギンギシなどのタデ科

大きさ=開張(羽を広げた最大値)50~65mm

特性=雌雄ともに、前羽の地色は橙色で黒い斑点があり、後羽の地色は黒褐色で外縁付近に橙色の斑が並ぶ。夏型は春型に比べて黒っぽい。雄は縄張りを持つ。

- 編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp

④芳賀町の携帯サイトはコチラから➔



この印刷物は、ESPAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
ESPA: 環境保羅印刷推進協議会
http://www.e3pa.com